

生徒指導の視点から「情報モラル教育」について考える

生徒指導・特別支援教育部 専門主事 伊藤卓也

要約

子どもを取り巻くネット社会の現状を踏まえ、人権教育や予防的・開発的な生徒指導の視点から「情報モラル教育」のあり方について考え、「子どもへの指導」「保護者対象の講演会」「校内研修」などに活用できる指導資料(ワークシート冊子)とスライド資料を作成し、長野県総合教育センターのホームページを通して発信する。

(キーワード)

情報モラル教育 人権教育 予防的・開発的な生徒指導 ネットトラブル予防と対応

I テーマ設定の理由

日本は、高速インターネット通信網の整備と情報通信機器の普及(主に経済活動の推進を目的とした2000～2005年のe-Japan構想と2006～2010年のu-Japan構想)により、「時間や場所に関係なく誰もがネットにつながる社会(ユビキタスネットワーク社会)」を築き上げてきた。そして、同時に子どもたちにも、ネットにつながる小型ゲーム機、携帯音楽プレイヤー、タブレットPC、スマートフォンなどの情報通信機器が普及した。これらの情報通信機器は、とても便利なツールである。しかし、子どもの不適切な利用による「ネットいじめ」「青少年の売春」「詐欺」などの被害や加害、さらに「ネット依存」など様々な問題が発生していることも事実である。報告されているトラブル(ネットトラブル)の多くは、子どもの人権意識の未発達と、子どもが情報通信機器のネット接続機能を不適切に利用したことに起因している。子どもを「被害者にも加害者にもさせない」ために、まずは大人(教師や保護者)が、子どもを取り巻くネット社会の現状を知る必要がある。

本研究では、子どもを取り巻くネット社会の現状を踏まえ、人権教育や予防的・開発的な生徒指導の視点から「情報モラル教育」のあり方について考え、「子どもへの指導」「保護者対象の講演会」「校内研修」などに活用できる指導資料(ワークシート冊子)とスライド資料を作成し、長野県総合教育センターのホームページを通して発信する。

研究の目的：子どもを「被害者にも加害者にもさせない」ために！

大人(教師や保護者)が…

- ・子どもを取り巻くネット社会の現状を知る。
- ・子どもの発達段階に合わせた適切な指導や支援をする。

子どもが…

- ・ネットや情報通信機器の特性を理解する。
- ・人権意識を高め、自らの関わり方を考える。

- ・そのための指導資料等を、人権教育の視点や、予防的・開発的な生徒指導の視点から作成する。
- ・「情報モラル教育」を推進するため、長野県総合教育センターのホームページから発信する。

II 研究の内容

1 作成のコンセプト(内容の精選)

(1) 小学校について

小学校段階においては、「他人や社会への影響」「ルールやマナーを守ることの意味」「自分や他人には権利がある」「世の中には誤ったものや危険なものがある」「健康を害するような行動」などについて考えさせる学習活動を通じて、情報モラルを確実に身に付けさせる必要がある。

情報モラルは、道徳などで扱われる「日常生活におけるモラル」が前提となる場合が多く、道徳で指導する「人に温かい心で接し、親切にする」「友達と仲良くし、助け合う」「他の人との関わり方を大切にする」「相手への影響を考えて行動する」などは情報モラル教育においても何ら変わるものではない。 文部科学省「教育の情報化に関する手引」第5章 第2節より

また、平成21年4月に施行された「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」では、保護者の責務として以下のように定めている。

保護者は保護する青少年（18歳未満）について…

- ・インターネットの利用状況を適切に把握する。
- ・フィルタリング等の利用により、インターネットの利用を適切に管理する。
- ・インターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める。
- ・インターネットの利用が不適切に行われた場合には、青少年の売春、犯罪の被害、いじめ等の様々な問題が生じることを認識する。

この法律において、学校には「保護者が保護する青少年に対する責務を果たすために、家庭教育を支援する責務」があるとしている。ゲーム機などの情報通信機器が子どもに与えられる時期でもあることから、小学校段階は保護者への啓発活動と家庭教育への支援に焦点を絞った。

(2) 中学校と高等学校について

文部科学省が小中高一貫のカリキュラムとして示す「情報モラル指導モデルカリキュラム」において、学校教育で達成すべき「情報モラル」に関わる目標の概要は以下のとおりである。

情報社会の倫理

- ・情報社会における自分の責任や義務について考え行動する。
- ・情報に関する自分や他者の権利を理解し尊重する。

法の理解と遵守

- ・社会は互いにルールや法律を守ることによって成り立っていることを知る。
- ・情報に関する法令等の内容を理解し遵守する。

安全への知恵

- ・安全の面から、情報社会の特性を理解する。
- ・危険を予測して被害を予防する。
- ・トラブルに遭遇したとき、様々な方法で解決できる知識と技術を持つ。
- ・自他の情報の安全な取り扱いに関して正しい知識を持つ。
- ・自他の健康面や安全に配慮した情報メディアとの関わり方を意識して行動する。

情報セキュリティ

- ・情報セキュリティに関して、事前対策、緊急対応、事後対策をする。

公共的なネットワーク社会の構築

- ・ネットワークの公共性を意識し、公共性を維持するために主体的に行動する。

また、文部科学省は「教育の情報化に関する手引」や「学習指導要領解説総則編」において、情報モラルの指導のあり方として以下のように示している。

- ・各教科等において指導するタイミングをうまく設定し、繰り返し指導する。
- ・生徒同士で討論することやトラブルの「擬似的」な体験を通して、情報モラルの重要性を実感させる。
- ・一方的に知識や対処法を教えるのではなく、生徒が自ら考える活動を重視する。

上記の波線部を踏まえ、中学生や高校生向けの教材として盛り込む内容を以下のように設定した。

- ・ネット社会における自分の責任や義務，自分や他者の権利，公共性について考える。
- ・ネット社会に関する法令等の内容について，トラブルの事例を通して考える。
- ・ネットの特性について，トラブルの事例を参考にしながら危機予測の視点から考える。
- ・自分が危機に遭遇したとき，どのように行動すればよいか考える。

指導資料は、各教科の学習、学活（LHR）、短学活（SHR）など、学校の実情や生徒の実態に合わせて活用できるよう、タイトルごとに10分程度で実施できる内容とし、A4サイズ2ページ（両面印刷1枚）のワークシートとして作成した。

(3) 教師について

子どもを指導するに当たっては、教師が情報モラルに関する知識を持っている必要がある。特に、近年は子どもがネットに関係する問題（ネットトラブル）の加害者になる事例も多い。そのため、教師がネットに関連する法令の知識を持つことも必要である。指導資料とスライド資料を作成するに当たり、教師が子どもの人権意識を高め、子どもに「ネットに関連する法令等」を理解させるための内容を多く盛り込んだ。

(4) 保護者について

子どもが関わったネットトラブルの事例の多くは、「子どもが、どのようにネットや情報通信機器を利用するのかを保護者が十分に検討しなかった」ことに起因している。

指導資料とスライド資料を作成するに当たり、保護者が「不適切な利用に起因するトラブルの事例」を知り、「使い方によっては被害者にも加害者にも成り得る機器を子どもに持たせている」という危機感を保護者に持っていただくとともに、子どもに情報通信機器を与える前の「家庭のルールづくり」や「フィルタリングの利用」を推進するための内容を多く盛り込んだ。

2 スライド資料の作成

(1) 使用目的によって教師が工夫できる

情報モラルに関わる授業や講演会を実施するとき、対象者（参加者）によって伝える内容を工夫する必要がある。

- ① 「子ども」が知るべき内容。
- ② 「大人（保護者や教師）」だけが知るべき内容（子どもには聞かれない内容）。
- ③ 「子ども」も「大人（保護者や教師）」も知るべき内容。

スライド資料「ネットトラブル予防と対応」は、教職員対象の研修で活用することを想定し、上記①～③の内容を全て盛り込んだ。そのため、「子どもの発達段階」「保護者の抱える悩み」「学校の実情」に応じて使用するスライド資料を工夫できるように、各スライドの解説を含めた簡易的な読み原稿「スライドの要点」を作成した。長野県総合教育センターのホームページからダウンロードしたスライドのファイルを開き、使用しないスライドを **Delete** キーで消去すれば授業や講演会を実施できる。

(2) スライドの内容と対象者（参加者）による「向き」「不向き」

参考までに、授業や講演会の参加者（対象者）による各スライドの向き不向きを示す。

スライド内容	子ども	保護者	教師
情報通信機器の機能を知る	中× 高×	小◎ 中◎ 高◎	小◎ 中◎ 高◎
ネットを悪用した詐欺	中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎
ネットに関連する法令等	中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎
SNS	中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎	小○ 中◎ 高◎
発達段階の特徴を知る	中× 高×	小◎ 中○ 高○	小◎ 中○ 高○
心身の健康への影響	中○ 高○	小◎ 中○ 高○	小◎ 中○ 高○
有害情報から守るために	中× 高×	小◎ 中◎ 高◎	小◎ 中◎ 高◎

【表の印：◎知るべき ○知っていたほうがよい ×知らなくてもよい】

3 指導資料（ワークシート冊子）の作成

(1) 使用目的によって教師が工夫できる

学校の実情や生徒の実態に合わせて内容を工夫できるよう、PDF形式ではなくMicrosoft Word形式でネット公開することにした。イラスト等の著作権に配慮するとともに、専門用語や流行によって変化するような固有名詞（Twitter, Facebook, LINE など）をなるべく使用しないよう配慮した。また、タイトルごとに10分程度で実施できる内容とし、教師が大掛かりな準備をしなくても授業や講演会を実施できるように、A4サイズ2ページ（両面印刷1枚）の印刷物のみで学習活動ができる構成とした。

(2) 中学生や高校生の発達段階を意識

思春期を生きる中学生や高校生、特に「ギャング」と呼ばれるような閉鎖的な仲間集団の中で濃密な関係をつくる子どもには「大人よりも友人関係を優先する」という特徴がある。そのため、教師が一方向的に知識や対処法を教えるのではなく、教師がネットトラブルの事例を示し、子ども自ら「自分や他者の権利」「公共性」「危機予測」について考え、友人たちとの情報交換を通して「自分が危機に遭遇したとき、どのように行動すればよいか」を互いに学び合う活動を重視する内容で構成した。

また、ネットトラブルの多くはコミュニケーションのトラブルである。そのため、友人たちと情報交換する場面ではSST（ソーシャルスキルトレーニング）の視点を取り入れ、教師が事前に話し合いのルールを明示して徹底することを指導資料（ワークシート冊子）の表紙裏のページに記載した。学習活動の基本的な流れは以下の通りである。

学習活動の基本的な流れ	留意点
教師が話し合いのルールを示す。	自分の意見も友人の意見も尊重する姿勢を大切にする。
教師がトラブルの事例を示す。	「もし自分がトラブルに遭遇したら」という危機意識を持つ。
自分一人で考えさせる。	どのように行動すればよいか自分で考える。
友人と情報交換して整理させる。	解決するためには、様々な方法があることを知る。
教師がまとめる。	人権意識、危機予測、緊急対応の視点を大切にする。

話し合いのルール（例）

- ・全員が参加する
- ・話す順番を守る
- ・乱暴な言葉を使わない
- ・話し手の邪魔をしない
- ・自分以外の意見を一度受け入れる
- ・冷やかさない
- ・お互いに拍手をする

(3) 指導資料（ワークシート冊子）の内容

携帯電話やスマートフォンの所持率が急増する（保護者から与えられる）中学生や高校生を対象とし、文部科学省が示す「情報モラル指導モデルカリキュラム」を参考に、情報モラルを「学び合い」「学び直す」という視点で内容を構成した。概要は以下の通りである。

タイトルと学習内容
① <u>ネットでの会話について考える！</u> ・文字を中心としたコミュニケーションは難しいということを理解する。
② <u>ネットへの悪口の書き込みについて考える！</u> ・ネットへの「悪口の書き込み」の事例を通して、関連する法令等の内容を理解する。
③ <u>個人情報について考える！</u> ・個人情報について理解を深め、ネットへの情報公開について危機意識を高める。
④ <u>電話の常識！「出るとき」「掛けるとき」</u> ・現代の電話対応の常識を知り、情報通信機器を扱う際の危機意識を高める。
⑤ <u>ネットを悪用した詐欺について知る！</u> ・ネットの世界には、人間の心理を悪用しようとする仕掛けもあることを理解する。
⑥ <u>パスワードについて考える！</u> ・情報通信機器のセキュリティは、想像以上に弱いということを意識する。
⑦ <u>フィルタリングについて考える！</u> ・フィルタリングは、悪意あるサイトから自分自身を守るための技術だということを知る。

4 長野県総合教育センターホームページからの発信

作成した指導資料（ワークシート冊子）とスライド資料を、「誰もがダウンロードして活用」できるように、情報教育に関わる既存の指導資料とともに、長野県総合教育センターの「情報教育」のページを更新した。アクセス方法は以下の通りである。

長野県総合教育センターホームページ ⇒ 教育情報 ⇒ 情報教育

URL <http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/k.jouhou/jousan/jouhou/index.htm>

The image shows a screenshot of the Nagano Prefecture Comprehensive Education Center website. At the top, there is a navigation bar with links for 'Home', 'Research', 'Education Information', 'Education Consultation', and 'Download Materials'. Below this, there are several content boxes. A red callout box with a white background and a red border points to the 'Education Information' link in the navigation bar. Inside the callout box, the text reads: '教育情報 をクリック' (Click Education Information), followed by three downward arrows, then '情報・産業教育 の' (Information and Industry Education), and finally '情報教育 をクリック' (Click Information Education). The background of the callout box shows a blurred view of the website's content, including a box for 'Education Information' with a list of topics like 'Beginner Training', 'Experienced Training', and 'Career Advancement Training'.

Ⅲ 研究の成果と課題

本研究を通して作成した資料は、長野県総合教育センターのホームページからダウンロードすることができる。次年度以降、長野県総合教育センターの教職員研修や校内研修支援における活用をはじめ、各学校において「子どもの発達段階」「保護者の抱える悩み」「学校の実情」に応じて活用されることを願う。

スライド資料
(スライド 62 枚)



スライドの要点
(簡易的な読み原稿)



指導資料
(ワークシート冊子)



Ⅳ おわりに

これまで私は、作成した指導資料等を県内の教職員に向けて発信（公開）する取組を続けてきた。今後も、長野県総合教育センターが教育の「シンクタンク」としての役割を果たし続けるとともに、そのホームページが長野県の「教育情報ポータルサイト」として成長し続けることを願う。

[参考文献・引用文献]

- (1) 文部科学省 平成 22 年 3 月 生徒指導提要
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/04/1294538.htm
- (2) 文部科学省 学習指導要領解説総則編
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/
- (3) 文部科学省 平成 19 年 5 月 23 日 情報モラル指導モデルカリキュラム
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1296900.htm
- (4) 文部科学省 平成 22 年 10 月 29 日 教育の情報化に関する手引
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/1259413.htm
- (5) 文部科学省 平成 20 年 11 月 12 日 「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/20/11/08111701.htm
- (6) 文部科学省委託事業 平成 18 年度 『情報モラル等指導サポート事業』 やってみよう、情報モラル教育
<http://kayoo.org/moral-guidebook/>
- (7) 長野県教育委員会 平成 26 年 12 月 26 日 インターネットの安全な利用に関する共同メッセージ
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/ketai/internet.html>
- (8) 長野県教育委員会 平成 18 年 3 月 メディアリテラシー教育の手引
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/ketai/shidoshiryo/index.html>
- (9) 長野県教育委員会 平成 19 年～ ユビキタス@nagano
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/shido/ketai/nagano/index.html>